

12/28(土)

まいど！倫理号です。今シーズンは最後の号となります。10cm位あふでいにか
早速に雪かきです。運動にも励み。
私の本業が忙しな事には整理、整頓で忙し。あれ程倫理が学んでいいるのに
本業で忙しな自分か、おれ、反省！

2013. 12. 28～2014. 1. 5

今週の 倫理

倫理号今年最終です。いつも楽しみに読んでくださる
ご言葉に励まされ、一年間愛読に頂いた事
に感謝です。たいだん 虫の大神様にも宜しく。
幸せ導き Pホー鳥

十二月は、すべてを「し果たす」月とされ
ています。今年一年の締めくくりを完全にし
て、有終の美を飾りましょう。具体的には、
後始末の実践を行ない、仕事の区切りを付け
ることです。特に、3S（整理・整頓・清掃）
の実践に徹していきましょう。

まず「整理」です。必要なものと、不要な
ものを区別して、不要なものを処分してい
きましょう。感謝の式をとって処分すること
はいうまでもありません。

次は「整頓」です。必要なものを、誰にで
も使いやすい、また、戻しやすいようにして
おくことがポイントです。

例えば、事務机の中を見てみましょう。
A社では、社員の机の中に、鉛筆やボール
ペン、計算機などの事務用品の形に切り取ら
れたスポンジマットが敷かれています。すべ
てがピタリと収まり、すぐ取り出せるようにな
っています。使用したらすぐ元に戻します
ので、紛失は一切ありません。

そして「清掃」です。職場や会社周辺をピ
カピカに磨き上げることです。雑然としたオ
フィスでは、効率の良い事務処理はできない
でしょう。汚い職場からは良いアイデアやよ
り良い商品や製品は生まれません。

B社では、「汚い」というイメージを払拭
するために清掃に力を入れています。社員の
身なりにも清潔さが表われて、「明るくて気
持ちの良い会社」と評判になり、売り上げも
順調に伸びています。

3Sを徹底して 一年を締めくくる



絵・今谷 鉄柱

C社では、マンネリ化した社内の空気を改
善するため、社員全員が参加する清掃を毎日
続けています。社員間の絆が強まり、何事に
も積極性が生まれ、イキイキとした明るい職場
に変わっています。

こうした3Sの実践ができていないため
に、商談が流れることもあります。

D社を視察した取引会社は、「汚い工場だ。
3Sができていない。こんな工場では品質を
維持できない」と判断しました。つまり、仕
事を任せられないという結果になりました。

以下は後始末の実践のポイントです。
一、早く、きちんとする

後始末ができていない人は、グズグズして
すぐやらない人です。後始末は気づいたらす
ぐやるのが決め手です。

二、物を活用して、整理・整頓・清掃する
物は生きています。道具や事務用品などの
効能を最大限に活用しましょう。次の行動が
よりスムーズになります。

三、報恩を自覚する

全ては天地自然の中に生かされています。
「ありがとうございます」「お世話になりま
した」と、物により生かされていることへの
感謝を深めましょう。

来年の干支である「馬」は、昔から縁起の
いい動物として多くの人々に愛されてきま
した。今年のうちの後始末をやり遂げ、天馬
のように駆け抜ける一年となりますよう、心
よりお祈り申し上げます。